

1 2

2 8 6

2003年 12月

THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

京都ウエストワイズメンズクラブ

BAMBOO

強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う

クラブ会長標語 プロジェクトW

会長 胡内順一 副会長 立山隆一 岩本敬子 書記 中原一晃 河合久美子
会計 高野忠男 寺井幸生

標語

国際会長 BeAgents of Change

~to meet the emerging challenge~

革命の担い手となろう~押し寄せる挑戦に応えるために

アジア会長 New Thinking New Action! ~新たな思想で新たな行動を

西日本区理事 Serve as a bridge for the future ~未来に架ける橋~

京都部部长 ワイズの森を大樹の森に~京都500を目指して

EMC - M

「見よおとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は「神は我々と共におられる」という意味である。 **マタイによる福音書 1章 23節**

節

メネット入院で知る夫婦の関係

IBC/DBC 委員長 森田 恵三



いやはや全くこの度は参りました。なにせ結婚して四十年、半日位寝込んだかなと云うほどに健康に自身ももっていたメネット、直子が内視鏡検査を受けるなり胃癌を宣告されてしまったのですから。「本人は以前から自分が床について病が癌であっても最後まで告知してくれるな」と言ってただけにあまりにもアッサリ告げられ拍子抜けして、かえって覚悟のほども決

まったようでした。あわてたのはかえって廻りの者たち。娘たちはインターネットで癌の資料集め、私もお蔭で癌についての知識がつかました。お医者さんの無頓着とも思えたアッサリ宣告も早期癌で完治させる自信があたりだったのでしょう。患者の心証を思いやっか、病状と治療法について詳細な説明をして下さり、一安心しました。しかし手術前に至って、執刀医・麻酔医・薬剤師それぞれによる病室でのインフォームドコンセントには、なんとご丁

寧なと思うほどでしたが、一方「……こういうことが起こる可能性がないとは云えません」には少々不安感を誘うものでした。とは言え全ては「まな板の鯉」。見事に調理していただいて、無事退院することが出来ました。まずはオメデトウと祝ってくれた孫6人を交えて14人家族揃っての祝い鍋から噴出す湯気の温もりが、そのまま家族の温かさだと感じたことでした。新年には古稀を迎える私にとってもこの度の出来事にはいろいろと教えられました。健康への過信は禁物、人生には大きな落とし穴があること、家族の絆の大切さ、友人知人の愛情溢れるお言葉、炊事・洗濯・掃除などの家事の大変さ等々みんな大事なことばかりでした。最も深く感じたことは、夫婦という関係でした。最小の団体は夫婦。縁あって夫婦となり、子を育て独立させて、また二人だけの家庭、いずれかが先立ちひとりとなり人生を終える。この当たり前の短い人生の中で、よく聞く話は「夫婦は空気のようなもの」という言葉ですが、私は夫婦の存在を常に「真善美」として意識しながら生活することこそ、老後の至福かと思いつく考えさせられたことでした。11月22日はいい夫婦の日でした。かねてから二人して洛西を歩こうと約束していたこととて、お揃いのウォーキングシューズを買ってきました。三日坊主に終わらぬように二人が意識して続けていこうと願っています。

11月在籍者

会 員	月例会	74%	切手	0.Pt	第一例会	27,854円
23名	メン 17名	(メイキップ誌)	現金	0.Pt	0円	(ネットファンド)
広義会員	メネット 5名				第二例会	
2名	コネット 3名	前月出席率	累計		0円	
合 計	ゲスト 0名	修正	切手	0Pt	累計	ファンド
25名	計 24名	なし			27,020円	年間合計
						0

出席第一・時間厳守・環境問題についての意識改革、行動・親睦・奉仕